

第四次葉山町総合計画後期基本計画の方向性及び町民アンケート調査について

1 後期基本計画の方向性について

(1) 基本構想について

※ 『第四次葉山町総合計画 平成 27 年度～平成 36 年度』冊子（以下「冊子」）9 ページから 27 ページまでの「Ⅱ基本構想」をご覧ください。

《方向性》基本構想の記載は変更しない。ただし、次の事項については修正する。

- ・元号を「平成」から「令和」に修正する。
- ・冊子 13 ページ「第 3 章 将来の人口」の将来人口推計について、平成 29 年（2017 年）と平成 32 年（2020 年）の人口推計値を実績値に修正し、併せて平成 36 年（2024 年）の人口推計値を、新たに行った推計値に修正する。

① 基本理念（冊子 11 ページ）

4 本の柱 「人を育てる」「暮らしを守る」「活力を創造する」「みんなでつくる」

② まちの将来像（冊子 12 ページ）

「美しい海とみどりに 笑顔あふれる ころろ温かな ふるさと 葉山」

③ 将来の人口（冊子 13 ページ）

※ 次の下線部について、修正を行う。

	記載値	実績値
H25 年（2013 年）	33,632 人	33,632 人
H29 年（2017 年）	33,316 人	<u>33,431</u> 人
H32 年（2020 年）	32,849 人	<u>32,994</u> 人
H36 年（2024 年）	32,068 人	<u>32,737</u> 人（推計値）

④ 基本目標（冊子 14 ページ）

ア 政策の分野 8 分野 「教育・文化」「子育て」「保健・医療・福祉」「生活環境」「安全・安心」
「都市基盤」「産業・経済」「行政運営」

イ 基本目標 11 目標

⑤ 施策の大綱（冊子 15 ページから 22 ページ）

ア 人・暮らし・活力づくり編－基本理念 1～3－基本目標 1～9－施策分野の将来像 1～18

イ 協働のまちづくり編－基本理念 4－基本目標 10・11－施策分野の将来像 19・20

⑥ 土地利用基本構想（冊子 23 ページから 27 ページ）

ア 葉山町の土地利用の現状

イ 土地利用基本構想の考え方

ウ 3つの地域区分に応じた土地利用の推進

エ めざす都市構造

(2) 基本計画について

① 基本計画書の構成

※ 冊子 30 ページ・31 ページの「基本計画書の構成」をご覧ください。

《方向性》基本計画書の構成は変更しない。

ア 基本目標（基本構想）

イ 施策分野（基本構想）

ウ 基本施策 ⇒ 40 本の基本施策については、②のウの部分について見直すこととする。

エ 基本施策がめざす姿

オ まちづくり指標

カ 現状と課題

キ 基本方針

ク 具体的な取り組み（単位施策）

ケ 協働でできること

エからケまでの記載事項については、次回以降の審議会において、4 本の基本理念ごとの基本施策の見直しの中でご審議いただく。

② 基本計画の体系

※ 冊子 32 ページ・33 ページの「基本計画の体系」をご覧ください。

《方向性》基本計画の体系は変更しない。

ただし、「政策の分野「教育・文化」の「学校教育」「生涯学習、生涯スポーツ、文化、交流、人権・平和」の基本施策については、**資料 2**のとおり見直しを行う。

ア 基本理念（基本構想記載事項のため、変更なし）

イ 基本目標（基本構想記載事項のため変更なし）

ウ 基本施策 → 一部見直し。**資料 2**参照

エ 単位施策 → 次回以降の審議会において、4 本の基本理念ごとの基本施策の見直しの中でご審議いただく。

(3) その他

① まちづくり指標について

まちづくり指標は、第四次葉山町総合計画の策定にあたり初めて「基本的施策が目指す姿（目標）」の達成に向けて、自分たちの取り組みが、どれだけ寄与・貢献しているものかを評価するときの「ものさし」として定めたものであり、この取り組みは大きなポイントであり、評価されるべきものである。

しかし、計画策定後、この「ものさし」の中には、設定上の不具合が生じていたり、達成状況の把握が困難なものもあり、後期計画に同じ指標を継続するかについてご意見等を賜りたい。

② 後期基本計画に記載すべき事項

前期基本計画策定後に開始され後期基本計画の計画期間中も継続する、または、後期基本計画中に新たに実施する事業等について、後期基本計画に記載すべき事項等についてご意見を賜りたい。

2 町民アンケート調査について

※ 現在、町民アンケート（案）につきましては作成中のため、大変申し訳ありませんが当日机上配布とさせていただきます。

参考として、前回（平成 25 年 10 月）実施した町民アンケート資料4を送付させていただきます。

対象者：15 歳以上の町民 1,500 人。年齢階層、性別、居住地で調査結果に偏らないよう配慮し、対象者を無作為抽出する。

アンケート調査項目：

《必須調査項目》

- ・ まちづくり指標中、町民の満足度、認知度、認識度などと定めている指標があり、町民アンケートによりその状況を把握する以外に方法がないものについて、把握する必要がある。
資料3参照

《後期基本計画の策定に活かすための調査項目》

- ・ 前回の調査項目（資料4参照）中、基本構想策定にかかわる調査項目であると考えられる「2. 葉山町の目指すべき将来像について」「3. 葉山町の地域特性・地域力について」を外すことを想定。
- ・ 上記のほか新たに必要となる調査項目を設定する。
※個別計画で実施するアンケート内容と重複しないよう調整を図る。